

2017年4月19日(水)



活きいきシニア福祉の会 施設見学

特別養護老人ホーム

「康寿園」



施設長の大倉寛明様に施設の案内と説明
をして頂きました

- ◆ 康寿園は、常時介護を必要とする要介護3～5の方の生活の場としてご利用いただける定員50名のホームです。ここ数年は、近所のクリニックの先生の協力もあり、「みとり」までも行っているそうです。入居者の多くは「康寿園」を終の棲家として最期を迎えられるという事でした。
- ◆ 入所には、選考基準があり、介護度が高く、かつ世話をする人が居ない方や生活困窮者などは優先順位が高いそうです。
- ◆ 見学している時に、富士山の歌とエレクトーンの音が聞こえてきました。ほぼ全員が車椅子ですが、訪問日は歌に合わせての手の上げ伸ばし、「学生時代」「南国土佐を後にして」などの合唱が行われていました。
- ◆ 「彩の国あんしんセーフティネット事業」に率先して参加されたり、「おむつは施設側の都合の押し付けではないか」という疑問から排便コントロールを開始し見事成功させたり、様々な活動に積極的に取り組まれている施設でした。
- ◆ 大変勉強になった有意義な訪問でした。

2017年4月19日(水)

長寿社会の現実 is 厳しいです。

<無病息災といかないまでも歩いてそこそこ元気であれば“寿”です>



お風呂も、左端のストレッチャーに寝かされて、右側の浴槽にスライドさせゆっくり湯船に入れてもらいます。



皆さん真剣でした。明日の自分かも知れません。



左の浴槽は、浴槽から椅子が出てきてその椅子に座り、椅子が浴槽にスライドして、座った状態で湯船につかります。



左のベッドは4人部屋のもので、其々のスペースが確保され、整理整頓が行き届き清潔感あり、ヘルパーさんの努力も！

特別養護老人ホーム「康寿園」での質疑応答

Q1 食事について、どのように	A1 4種類に区分けして対応している ① 通常・②おかゆ・③とろみ・④ムース状
Q2 家族の面会は	A2 原則自由で8時～20時
Q3 買い物などはOKか	A3 可能な一部の人手指の西友へ
Q4 入居希望者の待機期間は	A4 何とも言えないが、年間7～8名退園 平均在園期間5年ぐらい
Q5 終末期医療について	A5 延命措置はとらない→平穏死
Q6 看とりについて	A6 自宅で看とりか康寿園での看とりか 康寿園でとの要望が多い（現在2名の方が） 並木病院との連携・斎藤クリニックとの連携

* 認知症の方の受け入れについては、集団生活に支障がない、が基本前提

* 園での生活は、規則正しい、決まった時間で運営されている。

* 食事の時間帯で取れなかった場合、保健所の基準で、2時間迄の保存しかできない。

* 散髪は2か月に1回 @1600円・口腔ケア

* 傾聴ボランティアを含め、入所者への慰問ボランティアを期待。



=入居費用自己負担金額=

各種負担項目	要介護3	要介護4	要介護5
1) 介護保険一部負担額	25,826円	28,062円	30,231円
2) 実費分（負担限度額認定証による） 食費 1,380円/日 月額	41,400円	41,400円	41,400円
3) 住居費 840円/日 月額	25,200円	25,200円	25,200円
4) その他実費分日用品 200円/日 月額	6,000円	6,000円	6,000円
5) 預り金出納管理費/月	500円	500円	500円
6) お好み食/月1回（出前の食事）	1,000円	1,000円	1,000円